

2011年度第3四半期
決算説明資料

2012年2月3日

旭化成株式会社

1. 2011年度第3四半期実績

主要連結決算数値	P4
----------	----

連結損益計算書	P5
---------	----

特別損益	P6
------	----

連結貸借対照表	P7
---------	----

連結キャッシュ・フロー計算書	P8
----------------	----

セグメント別売上高・営業利益	P9～14
----------------	-------

2. 2011年度通期予想

当期業績予想	P16
--------	-----

セグメント別売上高	P17
-----------	-----

セグメント別営業利益	P18
------------	-----

3. 参考資料

連結包括利益計算書	P20
-----------	-----

セグメント別業績推移	P21～22
------------	--------

セグメント別海外売上高	P23
-------------	-----

セグメント別概況	P24～32
----------	--------

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

1. 2011年度第3四半期実績

主要連結決算数値

(億円)

	10年度		11年度	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
				a
売上高	3,939	11,587	4,017	12,039
営業利益	310	945	233	871
経常利益	302	898	259	880
四半期純利益	218	502	98	481

10-12月比較 対前年同期		4-12月比較 対前年同期	
増減額	増減率	増減額	増減率
78	2.0%	452	3.9%
-77	-24.7%	-74	-7.9%
-44	-14.5%	-18	-2.0%
-119	-54.8%	-22	-4.4%

11年度 前回予想*	進捗率
b	(a/b)
16,840	71.5%
1,240	70.2%
1,255	70.1%
745	64.5%

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	45,100	45,800	51,700	55,200
為替レート (相場平均:¥/US\$)	83	87	77	79

	11/3月末	11/12月末
総資産	14,259	14,378
自己資本	6,636	6,901
有利子負債残高	2,539	2,248
D/Eレシオ	0.38	0.33

増減
119
265
-292
-0.05

* 2011年11月2日発表の業績予想

連結損益計算書

AsahiKASEI

(上段: 百分比、% 下段: 金額、億円)

	10年度		11年度		10-12月比較		4-12月比較	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月	増減	増減率	増減	増減率
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	78	2.0%	452	3.9%
	3,939	11,587	4,017	12,039				
売上原価	74.2%	73.8%	76.1%	74.9%	135	4.6%	461	5.4%
	2,924	8,557	3,059	9,018				
売上総利益	25.8%	26.2%	23.9%	25.1%	-57	-5.6%	-10	-0.3%
	1,015	3,031	958	3,021				
販管費	17.9%	18.0%	18.0%	17.9%	19	2.8%	65	3.1%
	705	2,085	725	2,150				
営業利益	7.9%	8.2%	5.8%	7.2%	-77	-24.7%	-74	-7.9%
	310	945	233	871				
営業外損益	-8	-47	25	9	33		56	
(内、金融収支)	(1)	(0)	(4)	(11)	(4)		(11)	
(内、持分法投資利益)	(11)	(22)	(0)	(10)	(-10)		(-12)	
(内、為替差損益)	(-12)	(-47)	(7)	(-18)	(19)		(30)	
経常利益	7.7%	7.8%	6.4%	7.3%	-44	-14.5%	-18	-2.0%
	302	898	259	880				
特別損益	7	-125	-18	-49	-25		76	
税前利益	7.9%	6.7%	6.0%	6.9%	-69	-22.3%	58	7.5%
	310	773	241	831				
法人税等	-88	-257	-138	-338	-50		-81	
少数株主損益	-4	-14	-4	-13	-1		1	
四半期純利益	5.5%	4.3%	2.5%	4.0%	-119	-54.8%	-22	-4.4%
	218	502	98	481				

特別損益

(億円)

	10年度		11年度		増減	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
投資有価証券売却益	3	3	0	1	-3	-2
固定資産売却益	4	4	1	4	-3	-0
貸倒引当金戻入額	2	2	-	-	-2	-2
事業譲渡益	8	8	-	-	-8	-8
段階取得に係る差益	-	-	23	23	23	23
特別利益	16	16	24	28	8	12
投資有価証券評価損	0	4	31	36	31	32
固定資産処分損	7	30	9	22	2	-7
減損損失	0	1	0	2	0	1
環境対策費	0	7	-	-	-0	-7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	12	-	-	-	-12
災害による損失	-	-	1	10	1	10
事業構造改善費用	1	87*	0	6	-1	-81
特別損失	9	141	42	77	33	-64
特別損益	7	-125	-18	-49	-25	76

* アンモニア、ベンゼンの生産停止に伴う費用等

連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	11/3月末	11/12月末	増減		11/3月末	11/12月末	増減
流動資産	7,557	7,649	92	負債	7,503	7,353	-150
現金及び預金	1,403	1,154	-249	流動負債	4,899	4,827	-71
受取手形及び売掛金	2,734	2,666	-68	固定負債	2,604	2,526	-78
棚卸資産	2,562	2,984	421	純資産	6,756	7,025	269
その他	857	845	-12	株主資本	6,594	6,892	299
固定資産	6,702	6,729	27	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,184	4,131	-52	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	311	414	103	利益剰余金	4,787	5,088	301
投資その他の資産	2,208	2,184	-24	自己株式	-21	-24	-3
				その他の包括利益累計額	42	8	-34
				少数株主持分	120	124	4
資産合計	14,259	14,378	119	負債純資産合計	14,259	14,378	119

連結キャッシュ・フロー計算書

AsahiKASEI

(億円)

	10年度		11年度	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
営業活動によるキャッシュ・フロー①	317	810	225	856
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-169	-543	-235	-621
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	148	267	-10	235
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-204	-322	203	-497
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	4	-17	-24	-21
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-52	-73	169	-282

現金及び現金同等物の期首残高⑦	919	931	913	1,344
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	-	9	-	15
関係会社の報告期間変更に伴う増加額⑨	-	-	-	5
現金及び現金同等物の四半期末残高(⑥+⑦+⑧+⑨)	867	867	1,082	1,082

セグメント別売上高・営業利益(1)

(第3四半期・10-12月比較)

(億円)

	売上高			営業利益		
	10年度 10-12月	11年度 10-12月	増減	10年度 10-12月	11年度 10-12月	増減
ケミカル	1,899	1,820	-79	166	92	-74
住宅	905	1,090	185	79	109	30
医薬・医療	305	307	2	35	37	3
繊維	271	272	1	13	5	-7
エレクトロニクス	384	356	-28	32	-5	-36
建材	137	128	-10	13	9	-3
その他	37	44	7	2	9	7
消去又は全社	-	-	-	-28	-25	3
合計	3,939	4,017	78	310	233	-77
海外売上高 (比率)	1,090 27.7%	991 24.7%	-99 -3.0%			

セグメント別売上高・営業利益(2)

(9ヶ月累計・4-12月比較)

(億円)

	売上高			営業利益		
	10年度 4-12月	11年度 4-12月	増減	10年度 4-12月	11年度 4-12月	増減
ケミカル	5,549	5,598	49	539	433	-106
住宅	2,640	3,090	450	180	288	108
医薬・医療	883	907	24	76	94	17
繊維	817	834	17	36	27	-9
エレクトロニクス	1,216	1,132	-84	139	66	-73
建材	371	350	-21	24	17	-7
その他	111	129	18	10	21	11
消去又は全社	-	-	-	-58	-74	-16
合 計	11,587	12,039	452	945	871	-74
海外売上高 (比率)	3,341 28.8%	3,269 27.2%	-72 -1.7%			

セグメント別売上高・営業利益増減要因 (第3四半期・10-12月比較)(1)

(億円)

		10年度 10-12月	11年度 10-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高	1,899	1,820	-79	-91	23	-24	-12	-
	営業利益	166	92	-74	-13			-	-84
住宅	売上高	905	1,090	185	153	24	-	8	-
	営業利益	79	109	30	49			-	-43
医薬・医療	売上高	305	307	2	14	-6	-3	-7	-
	営業利益	35	37	3	6			-	3
繊維	売上高	271	272	1	-3	4	-5	0	-
	営業利益	13	5	-7	1			-	-13

セグメント別売上高・営業利益増減要因 (第3四半期・10-12月比較)(2)

(億円)

		10年度 10-12月	11年度 10-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
エレクトロニクス	売上高	384	356	-28	-9	-18	-6	-2	-
	営業利益	32	-5	-36	8			-	-27
建材	売上高	137	128	-10	-11	2	-	0	-
	営業利益	13	9	-3	-3			-	-2
その他	売上高	37	44	7	6	0	0	0	-
	営業利益	2	9	7	5			-	2
消去又は全社	営業損失	-28	-25	3	-	-	-	-	3
合計	売上高	3,939	4,017	78	60	29	-38	-11	-
	営業利益	310	233	-77	55			-	-161

セグメント別売上高・営業利益増減要因 (9ヶ月累計・4-12月比較)(1)

AsahiKASEI

(億円)

		10年度 4-12月	11年度 4-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高	5,549	5,598	49	-81	196	-115	-67	-
	営業利益	539	433	-106	-11			-	-291
住宅	売上高	2,640	3,090	450	388	24	-	38	-
	営業利益	180	288	108	127			-	-43
医薬・医療	売上高	883	907	24	64	-20	-6	-20	-
	営業利益	76	94	17	42			-	-5
繊維	売上高	817	834	17	13	4	-15	0	-
	営業利益	36	27	-9	3			-	-16

セグメント別売上高・営業利益増減要因 (9ヶ月累計・4-12月比較)(2)

AsahiKASEI

(億円)

		10年度 4-12月	11年度 4-12月	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
エレクトロニクス	売上高	1,216	1,132	-84	44	-127	-26	-1	-
	営業利益	139	66	-73	53			-	0
建材	売上高	371	350	-21	-21	-1	-	0	-
	営業利益	24	17	-7	-7			-	0
その他	売上高	111	129	18	18	0	0	0	-
	営業利益	10	21	11	9			-	3
消去又は全社	営業損失	-58	-74	-16	-	-	-	-	-16
合 計	売上高	11,587	12,039	452	424	77	-162	-50	-
	営業利益	945	871	-74	217			-	-368

2. 2011年度通期予想

当期業績予想

(億円)

	10年度			11年度今回予想					11年度 前回予想*
	上期	下期	計	上実績	下予想		計		
					10-12月	1-3月			
売上高	7,648	8,336	15,984	8,022	4,017	4,201	8,218	16,240	16,840
営業利益	635	594	1,229	638	233	169	402	1,040	1,240
経常利益	596	586	1,182	621	259	160	419	1,040	1,255
当期純利益	285	318	603	382	98	49	148	530	745

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	46,150	48,750	47,450	56,950	51,700	52,500	52,100	54,525	53,475
為替レート (相場平均:¥/US\$)	89	82	86	80	77	77	77	79	78

	10年度	11年度 予定
一株当たり年間配当金	11円	14円
配当性向	25.5%	36.9%

* 2011年11月2日発表の業績予想

セグメント別売上高

(億円)

	10年度			11年度今回予想					11年度 前回予想*	増減 a-b
	上期	下期	計	上実績	下予想		計 a			
					10-12月	1-3月				
ケミカル	3,650	3,773	7,422	3,778	1,820	1,682	3,502	7,280	7,670	-390
住宅	1,735	2,357	4,092	2,000	1,090	1,440	2,530	4,530	4,530	-
医薬・医療	578	586	1,164	600	307	293	600	1,200	1,240	-40
繊維	546	542	1,088	561	272	276	549	1,110	1,140	-30
エレクトロニクス	832	752	1,583	775	356	338	695	1,470	1,580	-110
建材	234	240	474	222	128	110	238	460	490	-30
その他	74	86	160	85	44	61	105	190	190	-
合 計	7,648	8,336	15,984	8,022	4,017	4,201	8,218	16,240	16,840	-600

* 2011年11月2日発表の業績予想

セグメント別営業利益

(億円)

	10年度			11年度今回予想					11年度 前回予想*	増減 a-b
	上期	下期	計	上実績	下予想		計 a			
					10-12月	1-3月				
ケミカル	373	270	644	341	92	17	109	450	580	-130
住宅	101	264	365	179	109	182	291	470	470	-
医薬・医療	42	29	70	56	37	-4	34	90	85	5
繊維	23	19	42	21	5	3	9	30	35	-5
エレクトロニクス	107	35	143	70	-5	-11	-15	55	120	-65
建材	11	10	21	8	9	-2	7	15	25	-10
その他	8	9	17	12	9	9	18	30	25	5
消去又は全社	-30	-42	-72	-50	-25	-26	-50	-100	-100	-
合 計	635	594	1,229	638	233	169	402	1,040	1,240	-200

* 2011年11月2日発表の業績予想

3. 参考資料

連結包括利益計算書

AsahiKASEI

(億円)

	10年度 4-12月	11年度 4-12月	増減
少数株主損益調整前四半期純利益①	516	493	-23
その他有価証券評価差額金	-51	48	99
繰延ヘッジ損益	2	1	-0
為替換算調整勘定	-54	-59	-5
持分法適用会社に対する持分相当額	-20	-27	-7
その他の包括利益合計②	-124	-38	86
四半期包括利益(①+②)	392	456	63

(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	381	447	66
少数株主に係る四半期包括利益	11	9	-2

セグメント別売上高推移

(億円)

	10年度				11年度			11年度 4Q 予想
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
ケミカル	1,784	1,866	1,899	1,874	1,860	1,918	1,820	1,682
住宅	645	1,090	905	1,452	792	1,208	1,090	1,440
医薬・医療	287	290	305	281	294	306	307	293
繊維	265	281	271	271	277	284	272	276
エレクトロニクス	409	422	384	367	398	378	356	338
建材	110	124	137	103	101	122	128	110
その他	35	39	37	49	40	45	44	61
合 計	3,535	4,113	3,939	4,396	3,761	4,260	4,017	4,201

セグメント別営業損益推移

(億円)

	10年度				11年度			11年度 4Q 予想
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
ケミカル	153	220	166	105	194	147	92	17
住宅	-9	110	79	185	36	143	109	182
医薬・医療	33	8	35	-6	26	30	37	-4
繊維	12	11	13	6	14	7	5	3
エレクトロニクス	52	55	32	4	48	22	-5	-11
建材	3	8	13	-3	2	5	9	-2
その他	3	5	2	7	4	8	9	9
消去又は全社	-20	-10	-28	-14	-22	-27	-25	-26
合 計	228	407	310	284	302	335	233	169

セグメント別海外売上高 (9ヶ月累計・4-12月比較)

(億円)

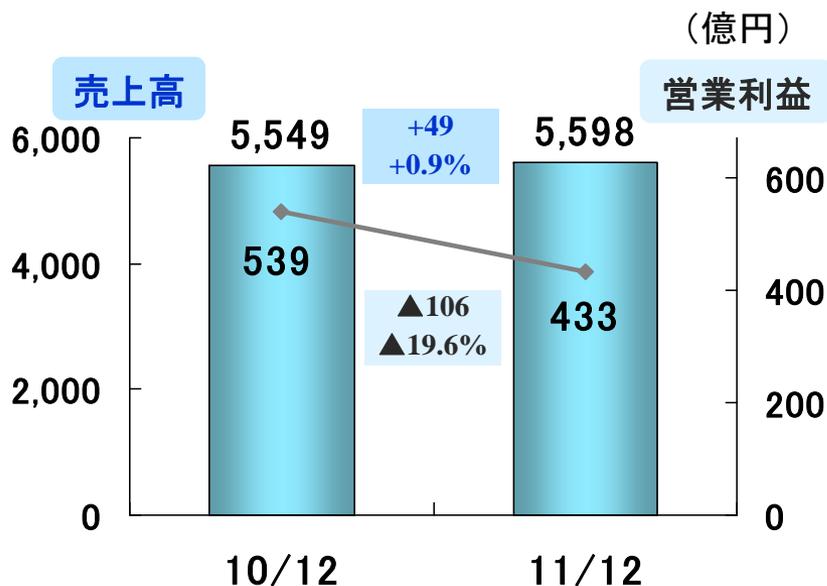
	10年度4-12月			11年度4-12月			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率(%)		金額	比率(%)	金額	伸び率(%)
ケミカル	5,549	2,246	40.5	5,598	2,203	39.4	-43	-1.9
住宅	2,640	-	-	3,090	-	-	-	-
医療・医薬	883	202	22.9	907	218	24.1	17	8.2
繊維	817	284	34.8	834	269	32.3	-15	-5.2
エレクトロニクス	1,216	602	49.5	1,132	563	49.7	-40	-6.6
建材	371	-	-	350	-	-	-	-
その他	111	7	6.2	129	16	12.3	9	131.1
合計	11,587	3,341	28.8	12,039	3,269	27.2	-72	-2.1
東アジア地域*への売上高		2,190	18.9		2,091	17.4	-99	-4.5
(内、中国への売上高)		1,257	10.8		1,171	9.7	-85	-6.8

<参考>

住宅・建材を除いた売上高 8,576 3,341 39.0 8,599 3,269 38.0

* 中国、韓国、台湾

ケミカル概況(4-12月累計)



<概況>

・汎用系事業

<モノマー系事業>

期前半アクリロニトリルなどの海外市況が上昇したものの、ナフサをはじめとする原燃料価格の高騰や円高の影響を大きく受け、交易条件が悪化したことなどから、売上高は前年同期並、営業利益は前年同期比減益となった。

<ポリマー系事業>

各製品において原燃料価格の高騰や円高の影響を受け、エンジニアリング樹脂は震災の影響もあり販売量も減少したが、タイヤ向け合成ゴムが好調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

・高付加価値系事業

イオン交換膜の販売量が増加し、「サランラップTM」などの消費材事業も堅調に推移したことから、前年同期比増収、増益となった。

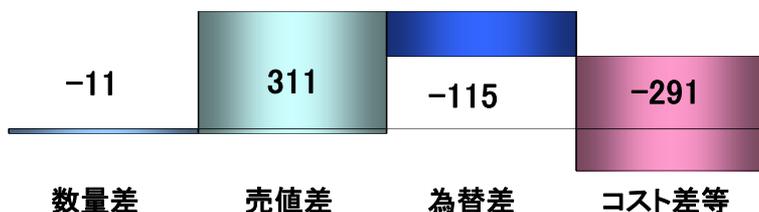
<トピックス>

- ・サウジアラビアにおけるアクリロニトリル事業化検討のため、サウジアラビア基礎産業公社(SABIC)、三菱商事(株)と合弁会社の設立を決定。(4月)
- ・研究開発棟「川崎イノベーションセンター」の新設を決定。(11月、2012年9月運用開始予定)
- ・シンガポールでの溶液重合法SBRプラント第2系列の建設を決定。(12月)
- ・独ヴェルナー&メルツ社より「FroschTM」(フロッシュ)ブランドの国内独占販売権を取得し、食器用洗剤4種類を発売。(2月)

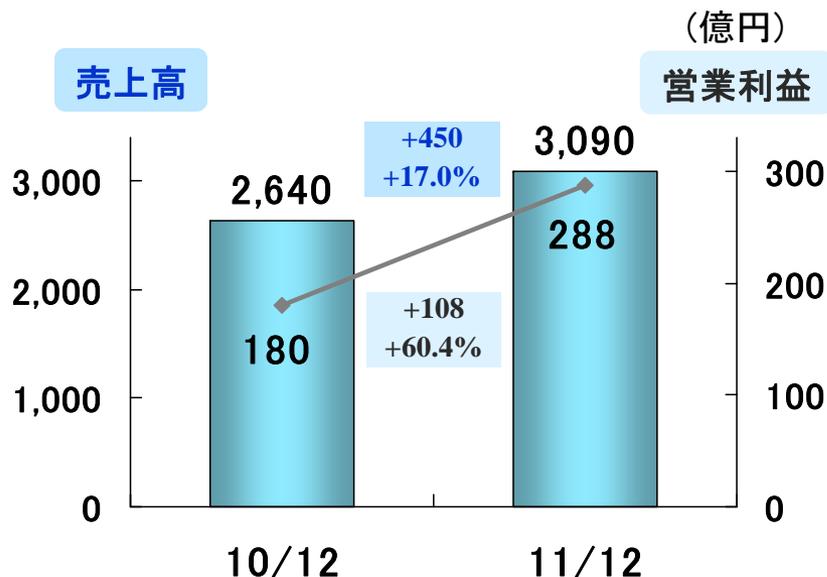
売上高増減分析



営業利益増減分析



住宅概況(4-12月累計)(1)



事業別差異分析

(億円)

	10/12(a)		11/12(b)		差異(b-a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負	1,927	/	2,287	/	360	/
分譲	121		151		30	
住宅周辺等	593		653		60	
合計	2,640		180		3,090	

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出

<概況>

- ・建築請負事業において、戸建住宅「ヘーベルハウス™」や集合住宅「ヘーベルメゾン™」の引渡戸数が増加し、分譲事業において、分譲マンションの売上が増加した。また、住宅周辺事業もリフォームの受注拡大、不動産の賃貸管理戸数増などにより好調に推移したことから、前年同期比増収、増益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、新商品の発売や政府の住宅取得促進施策の効果などにより、順調に受注戸数を伸ばし、10-12月で前年同期比2.3%、4-12月累計で前年同期比3.6%の増となった。

<トピックス>

- ・2階リビングと一体となった半屋外空間「そらのま」を提案する「ヘーベルハウス™ そらのま+(プラス)」を発売。(4月)
- ・ペット共生型賃貸住宅「ヘーベルメゾン™ +わん+にゃん」を発売。(6月)
- ・不動産関連事業を統合し、旭化成不動産レジデンス(株)を設立、営業開始。(10月)
- ・2階建プラスアルファの空間で家族の絆を深める都市型住宅「ヘーベルハウス™ スカイコテージのある家 天空こども城」を発売。(11月)
- ・過去に供給したヘーベルハウス™二世帯住宅のリノベーション商品「リメイク 二世帯再生タイプ」を旭化成リフォーム(株)より発売。(1月)

住宅(2)

売上高、受注高の状況

(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高*	他†	関係会社等	連結計	受注残
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213
	下期	1,523 (13.7%)	1,665 (▲6.4%)	269 (12.4%)	11	375 (1.7%)	2,320 (▲3.2%)	3,071
	通期	3,069 (5.4%)	2,823 (▲8.1%)	321 (7.4%)	19	734 (3.0%)	3,897 (▲4.9%)	
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634
	3Q	782 (14.2%)	671 (13.8%)	27 (▲84.5%)	8	199 (3.4%)	905 (▲5.7%)	3,745
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)	15	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)	25	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)	
11	上期	1,894 (4.2%)	1,459 (16.3%)	119 (26.5%)	15	406 (8.3%)	2,000 (15.2%)	4,030
	3Q	800 (2.3%)	827 (23.2%)	32 (20.0%)	231	(11.6%)	1,090 (20.5%)	4,003
	下予	1,741 (0.8%)	1,930 (9.3%)	136 (▲26.0%)	464	(13.9%)	2,530 (7.3%)	3,841
	通期予想	3,635 (2.6%)	3,390 (12.2%)	255 (▲8.3%)	885	(11.6%)	4,530 (10.7%)	

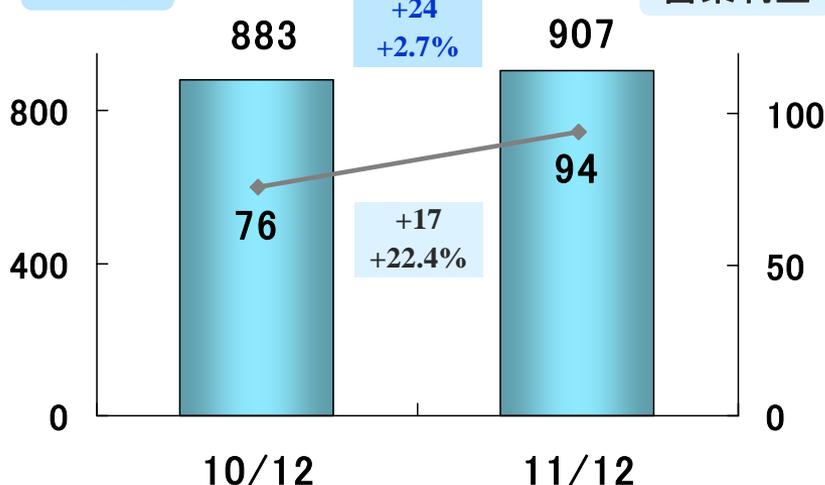
* 不動産関連事業を統合し旭化成不動産レジデンス(株)を設立したことから、分譲売上高は2011年度下期から旭化成ホームズ(株)の分譲事業と旭化成不動産レジデンスの開発事業を合計して表示

† 損害保険販売手数料収入等

医薬・医療概況(4-12月累計)(1)

(億円)

売上高



営業利益

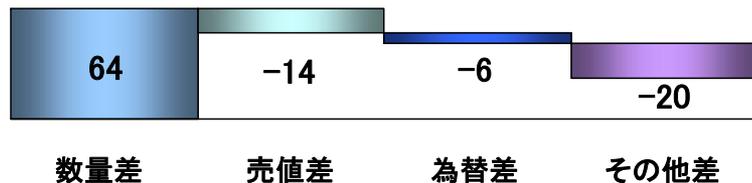
<概況>

- ・医薬事業は、MR(医薬情報担当者)の増強などにより販売管理費が増加したものの、血液凝固阻止剤「リコモジュリン™」や排尿障害改善剤「フリバス™」の販売量が増加したことに加え、新たに上市した骨粗鬆症治療薬「テリボン™」の販売量の増加も寄与し、前年同期比増収、増益となった。
- ・医療事業は、円高の影響などを受けたが、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の販売量が増加したことなどにより、前年同期比増収、増益となった。

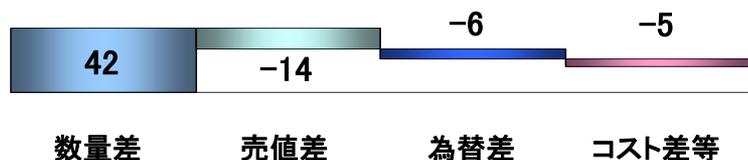
<トピックス>

- ・排尿障害改善剤「フリバス™」の韓国における販売承認を、韓国の導出先である東亜製薬(株)が取得(5月)。発売(1月)。
- ・スイス・アクテリオン社との訴訟において、当社への総額516.6百万ドルの支払いを命ずる第一審判決(8月)。損害賠償額を415.7百万ドルとする第一審判決の修正(11月)。
- ・骨粗鬆症治療薬「テリボン™」の国内製造販売承認取得(9月)。薬価収載、発売(11月)。
- ・骨粗鬆症治療薬「テリボン™」の自己投与可能なパッチ製剤開発のため、米国ゾサノファーマ社より技術を導入、2012年より臨床試験開始予定。(10月)
- ・医薬研究センター新研究棟の建設を決定。(10月、2013年10月運用開始予定)
- ・血液凝固阻止剤ART-123(日本での販売名:「リコモジュリン™」)の海外での臨床試験を行っている米国アルチザンファーマ社を完全子会社化。(11月)
- ・(株)クラレが保有する旭化成クラレメディカル(株)の全株式の譲受けによる100%子会社化の決定に伴い、旭化成クラレメディカル(株)と旭化成メディカル(株)の統合を決定。(12月、2012年4月1日子会社化及び統合予定)

売上高増減分析



営業利益増減分析



1. 売上高内訳

(億円)

		10年度			11年度	
		10-12月	4-12月	年間	10-12月	4-12月
					10-12月	4-12月
医薬系	医薬	151	420	554	156	441
	その他	14	50	58	8	32
	計	165	470	612	164	473
医療系*		140	413	551	143	434
医薬・医療 計		305	883	1,164	307	907

* 旭化成クラレメディカル、旭化成メディカル、及びその関係会社の合計

<主要医薬品の国内売上高>

(億円)

	10年度			11年度	
	10-12月	4-12月	年間	10-12月	4-12月
				10-12月	4-12月
フリバス™	38	105	139	40	109
エルシトニン™	34	103	134	32	98
リコモジュリン™	14	30	42	21	55
ブレディニン™	18	50	65	18	50
トレドミン™	9	27	35	7	23
テリボン™	-	-	-	4	4
エリル™	4	11	14	4	10

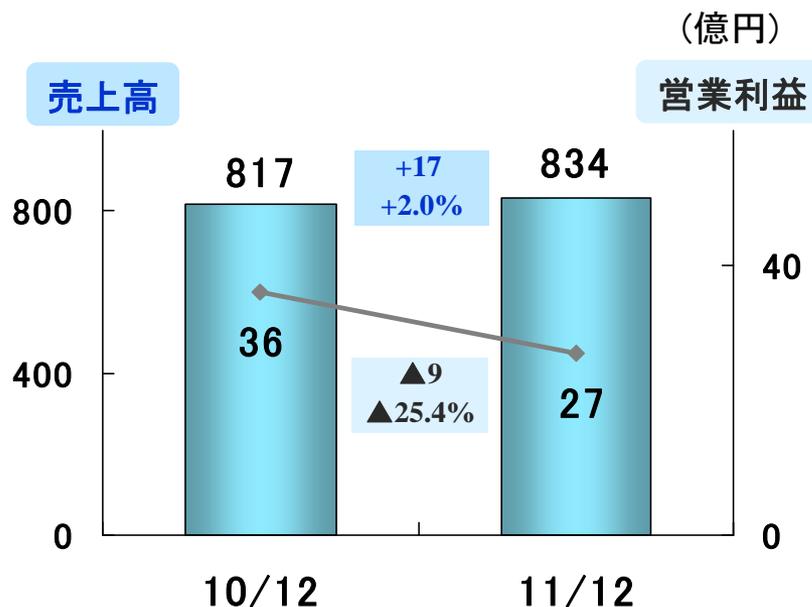
2. 研究開発の状況

		開発コード・剤型 (一般名・「商品名」)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	自社/導入	備考
国 内	申請中の品目	AK-120錠 (ファムシクロビル)	適応拡大	抗ヘルペスウィルス剤	単純疱疹	導入	
	フェーズⅢの品目	AK-156注 (ゾレドロン酸水和物)	新効能・新用 量医薬品	骨吸収抑制剤 (ビスフォスフォネート)	骨粗鬆症	導入	年1回 投与
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社	
海 外	フェーズⅡの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	DICを伴う敗血症	自社	
		AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

繊維概況(4-12月累計)



<概況>

再生セルロース繊維「ベンベルグ™」が堅調に推移したことに加え、エアバッグ用途を中心としたナイロン66繊維「レオナ™」やスパンボンド不織布などで販売量が増加したが、原燃料価格の高騰や円高の影響を受けたことなどから、前年同期比増収、減益となった。

<トピックス>

・ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」の高機能糸と高度な編成技術を駆使し、伸張により発熱する機能を持つ高機能素材「伸張発熱™スパイエル®」を開発。(11月)

売上高増減分析



営業利益増減分析

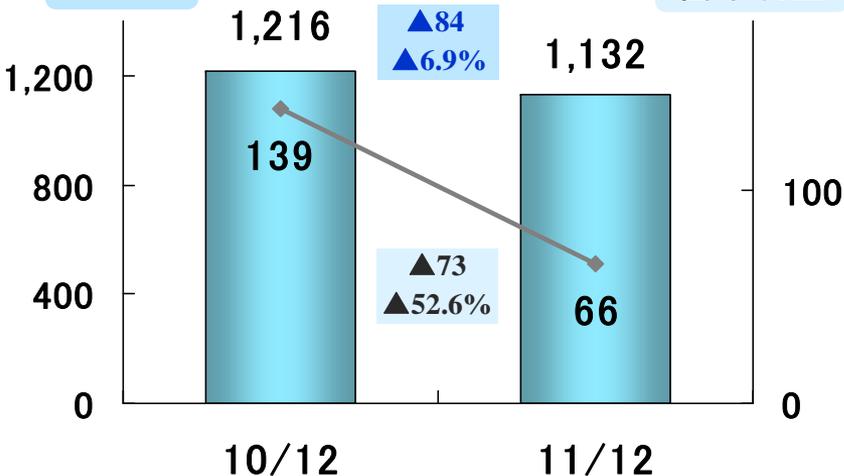


エレクトロニクス概況(4-12月累計)

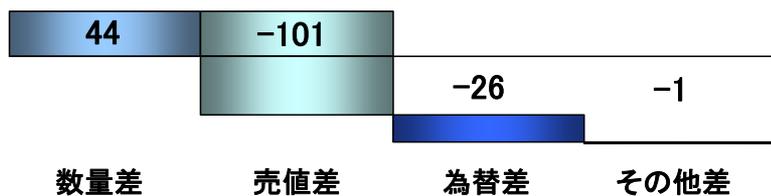
(億円)

売上高

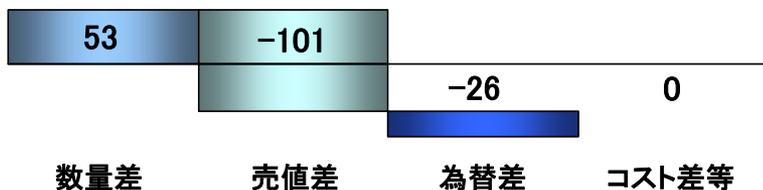
営業利益



売上高増減分析



営業利益増減分析



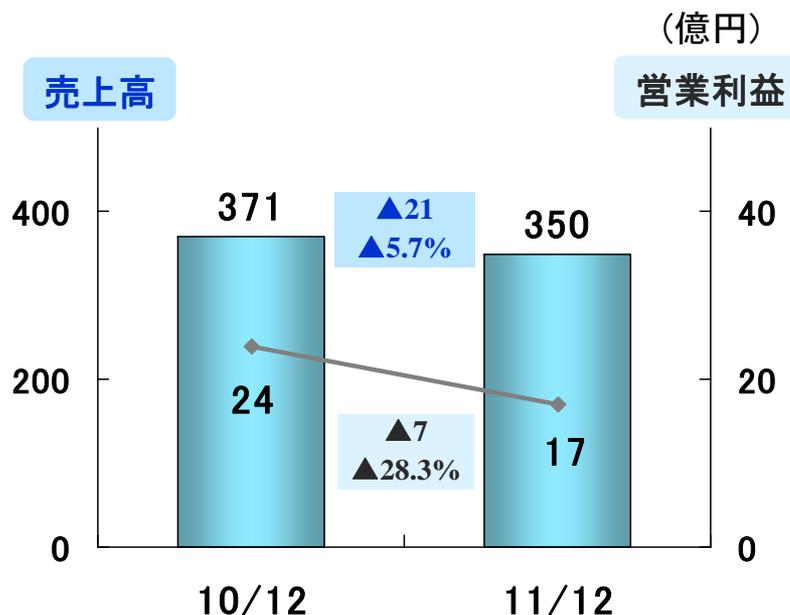
<概況>

電子部品系事業におけるスマートフォン向けミクスドシングルLSI、電子材料系事業におけるリチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」などにおいて販売は堅調に推移したが、全体的な事業環境の悪化などによる販売量の伸び悩みや、販売価格の下落、円高の影響を受けたことなどから、前年同期比減収、減益となった。

<トピックス>

- ・米国アナログ・デバイセズ社の加速度センサを集積し、当社従来製品から25%以上の小型化を実現した、携帯機器向け6軸電子コンパス新製品を発売。(2月)

建材概況(4-12月累計)



<概況>

軽量気泡コンクリート「ヘーベルTM」が販売量、販売価格共に回復基調にあったものの、基礎事業や断熱材事業などが低調に推移したことから、前年同期比減収、減益となった。

売上高増減分析



営業利益増減分析

